

令和5年度 事業計画

私たちソーシャルワーカーは、目の前のクライアントの声を聴き、クライアントの当たり前の生活の実現に向けて、様々な立場の方々と顔を合わせて一緒に行動することを大切にしています。コロナ禍の中で、私たちは顔を合わせて話し合うという、今までは当たり前であったことがいかに大切であったかを思い知されました。

今年度からは感染対策が緩和され、かつての当たり前であった日常を取り戻しつつあります。当協会においても、感染対策に注意しつつ、対面での活動を本格的に再開し、コロナ禍で棚上げしていた、新しい研修体制の実現に向けて試行的に進めていき、これに関連して組織体制の見直しも図っていきたいと考えています。

1. 組織および人材育成、研修体制について

- 地区ブロック役員は、役員会の情報を地区ブロック内の会員に伝達するとともに、会員の意見を役員会上げていく役割を担い、協会内の縦、横のつながりの強化および地区ブロック内での会員の研鑽などを進めていく。
- 地区ブロック内の交流を促進するため、試行的に地区ブロック活動費を大幅に増額（会員数×1,000円を基準）し、使途も柔軟に活用できるように見直す。
- 研修の企画・運営については新たに「研修委員会」を創設する。委員長を役員に位置付け、令和6年度の稼働に向けて準備を進めていく。委員の選出に当たっては地区ブロックではなく全域で募集する方向（現行の研修担当役員で構成された研修委員会の名称については、研修運営委員会と変更する）。
- 委員会は現在「災害対策委員会」が活動しているが、先述の「研修委員会」を加え、他の委員会についても検討していく。
- 部会については現在「若手部会」が活動しているが、今後は精神医療審査会委員研修会や精神保健参与員の集まりも部会として位置付ける（「若手部会」、「審査会部会」、「参与員部会」）。
- 令和6年度からは研修体制を一新し、2大研修制（6月 総会・記念講演、12月 大会（実践報告会+企画））と、トピックス研修を間（9月、3月）に入れていく。今年度は移行期として、試行的に実施する。
- 入会案内や協会規約、メーリングリストの登録方法等をパッケージ化した「入会者セット」（仮）を作成し、組織強化に活用する。
- 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会（以下、日本協会）全国大会に当協会から1名を派遣（参加費、旅費、宿泊費を当協会が負担）し、報告会を通じて還元することで、日本協会の魅力を当協会に広げていく。

2. 研修会その他事業の実施

| 時 期 | 内 容 | 担 当 |
|----------|---|--------|
| 5月13日（土） | 臨時役員会 | |
| 5月13日（土） | 三役会 | |
| 6月25日（日） | 総会・記念講演 内容：精神保健福祉法改正関連 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 藤井 千代 先生 会場：総合心療センターひなが | 桑名ブロック |
| 7月29日（土） | ソーシャルワーカーデー2023 in Mie 会場：鈴鹿医療科学大学 | 南部ブロック |
| 8月19日（土） | 三役会 | |
| 9月9日（土） | 役員会 | |

| 時 期 | 内 容 | 担 当 |
|-----------|---|---------|
| 9月10日(日) | 9月例会 ※ 終日 内容：ファシリテーション研修 (株)インソース 池山 恭弘 氏 会場：総合心療センターひなが | 四日市ブロック |
| 10月22日(日) | 基幹研修 I | |
| 11月 日() | 三県合同 初任者研修(未定) | 鈴鹿ブロック |
| 11月26日(日) | 三役会・役員会 | |
| 12月 3日(日) | 12月例会 実践報告会+P-HAG 体験会 ※ 終日 会場：三重県総合文化センター 視聴覚室 | 南部ブロック |
| 2月 日() | 三役会 | |
| 3月 9日(土) | 3月例会・役員会 内容：スーパービジョン 講師：調整中 | 津ブロック |

※順番では総会・記念講演は南部ブロックとなるが、昨年度も総会・記念講演を担当したので桑名ブロックと入れ替えている。同様に実践報告会も今年度担当した津ブロックとなるため南部ブロックと入れ替えている。

3. 広報活動について

- 会員間の情報伝達を進めていくため、メーリングリストの登録者数を増やすとともに、登録アドレスを所属から個人への変更を促していく。
- ホームページの管理運営の業務委託について検討を進める。

4. 他団体との協働

- 三重県内のソーシャルワーカー関連団体との交流を進め、ソーシャルワーカーデー 2023 in Mie を共催する。
- アルコール関連問題学会の三重県内連携組織への参画。
- みえ精神科臨床研究会へ参画し、精神障害者支援に係る多職種との交流を深める。
- 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会による東海・北陸ブロック単位(愛知・岐阜・三重・静岡・福井・石川・富山)での連携を充実させ、相互の会員の質の向上を目指す。
- 三重県地域包括ケアシステムアドバイザー派遣事業に協力し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組に参画していく。

5. 三重県精神保健福祉士協会としての災害対策整備の促進

- 災害対策委員会で作成した PSW 版避難所アプローチゲーム(P-HAG)の対面での体験会を開催し、会員へ災害対策委員会の取り組みを発信していく。

6. 年会費自動集金システムの導入について

- 会員のニーズに応え、年会費自動集金システムを導入し、多様な支払い方法を会員が選択できるようにしていく。